

6425冊

（ ドナルド・キーン氏蔵書整理・調査プロジェクト ）

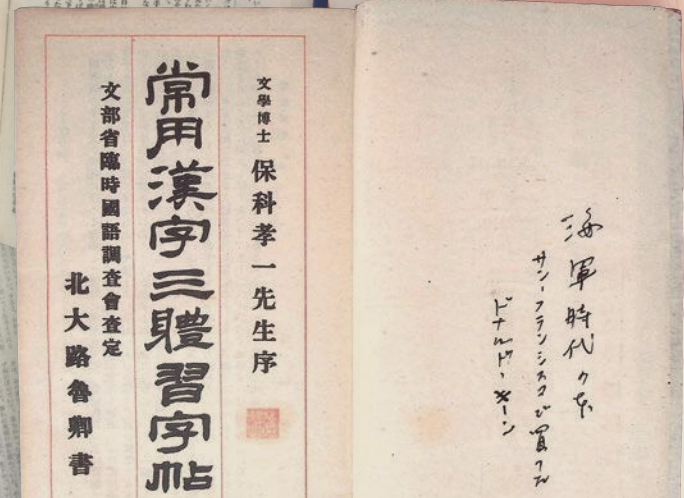
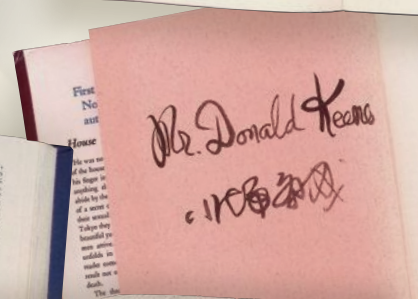
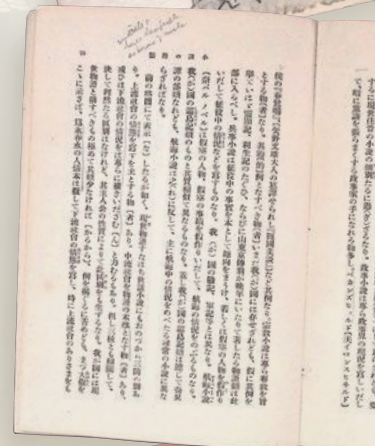
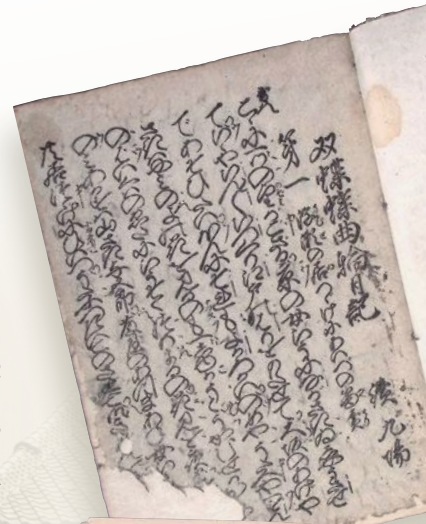
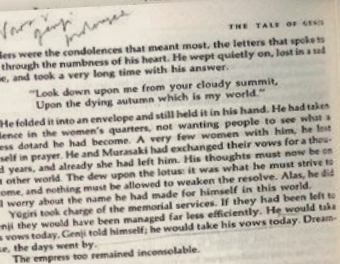
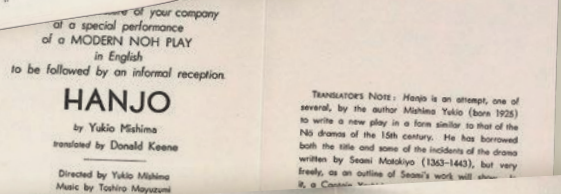
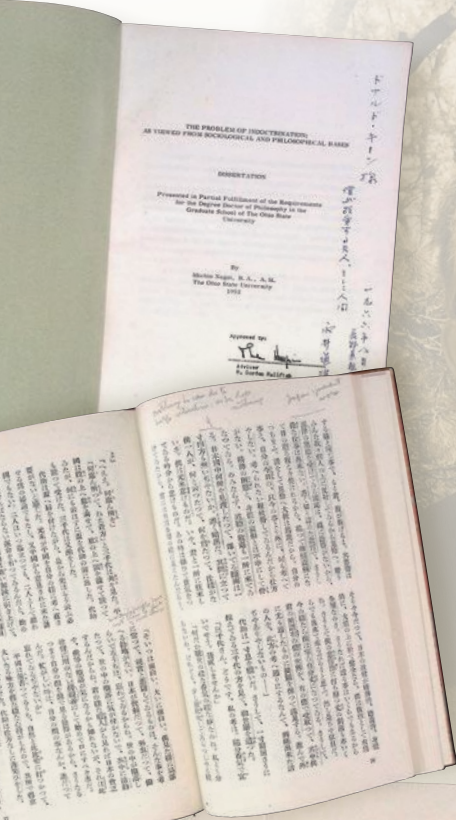
過去と現在が
交わるための鍵となる。



6425冊

Contents

目次	2
北区長挨拶	3
東洋大学学長挨拶	4
ドナルド・キーン記念財団 代表理事挨拶	5
監修者として	6
主要蔵書紹介	7
蔵書リスト(和文)(一部抜粋)	11
蔵書リスト(洋文)(一部抜粋)	12
作業風景	13
作業日程	15



東京都北区



区長

やまだ 加奈子



北区は、ドナルド・キーン氏が遺した約7000冊とも言われる膨大な愛蔵書の調査・研究等活用を視野に入れた資料整理を、ドナルド・キーン氏生誕100年記念事業に位置付け、ドナルド・キーン記念財団と協議して貴重な愛蔵書の整理と蔵書リスト作成に取り組み、蔵書リストと同リストをPRする本冊子を公開する運びとなりました。

事業は、キーン氏に名誉教授を授与された東洋大学、また北区では名誉区民、アンバサダーであった関係性から同財団を繋ぐ三者で、2022年7月に協定を締結して進めました。

2023年9月末に、蔵書リストが完成し冊数も6425冊と確定しました。この蔵書リストについては、今後の活用が各方面からも注目されています。蔵書リストの公開に合わせて、本冊子を作成し、蔵書リストの一部の他に主要な作品紹介や作業風景などの本事業の進捗なども記録に留めました。

蔵書リスト公開後は、研究者はもとより展覧会等での活用に資すること等を目指し、貴重な愛蔵書が活用されることを願っています。このようなことから、英文でも冊子を作成し海外の研究者や研究機関での利用の便を図りました。

結びに、事業推進にあたりご尽力いただきました関係各位に深謝いたします。

Message

東洋大学
🔑
学長
矢口 悦子



ドナルド・キーン先生は日本文学及び日本の文芸研究者として、世界的に広く知られている卓越した研究者です。東洋大学では先生が文化勲章を受勲された2008年、学術顧問としてお迎えし、2011年には東洋大学の名誉博士号を受けていただきました。

東洋大学では東京都北区赤羽台に3学部からなる新しいキャンパスを設置したご縁もあり、2022年7月北区とドナルド・キーン記念財団、東洋大学との三者が協定を締結し、キーン先生の蔵書約7,000冊を整理・調査するプロジェクトが始まりました。コロナ禍ということもあり、対面での活動には制約がありましたが、プロジェクトへの参加を希望した学生は100名を超え、その中から33名が選ばれて参加しました。プロジェクトの全体を日本文学を専門とする文学部の石田仁志教授が統括し、職員も作業現場での指導に関わりました。

キーン先生の美しい小さな文字での書き込みが多くみられる貴重な資料を、一冊ずつ学生たちが記録し、生きた資料へとよみがえらせるための基礎作業を成し遂げました。このようなプロジェクトは大学にとっても稀有の機会であり、大学が研究機関として、専門性に基づく研究の拠点であり続けることを証する事業を創造することができたと考えております。

このプロジェクトの成果は、日米両国の戦争を挟んだ時期を生きた世界的な日本文学研究者の蔵書記録を超えて、新しい知を生み出す土壌として活用され、長く引き継がれていくことを期待しております。

一般財団法人
ドナルド・キーン
記念財団



代表理事
キーン 誠己



父ドナルド・キーンが2019年2月に泉下の客となって4年半後に、父が最も大切にし身近に置いていたと言っても過言ではない約6500冊の蔵書の調査、整理、蔵書リストのデータ化が終わりました。場所を提供して下さった北区と様々なお手伝いをして下さった北区立中央図書館や地域振興部の皆様に心より感謝申し上げます。そして特筆すべきは地道に真摯に一冊ずつ心を込めて調査しデータ化して下さった東洋大学の学生さんたちと、指導に当たられた先生方やエクステンション部の皆様にも同様に深く感謝申し上げます。

完成した成果は、父の言葉で言うなら“実に立派な出来栄え”で、後世にまで日本文化や日本文学の研究者、ドナルド・キーンの研究者にとってだけでなく、一般の方々にも貴重な資料となるに違いありません。国際人であったドナルド・キーンですから国内外で利用されることを切に希望いたします。

45年間の長きにわたって住み、生前において墓までも持った北区と、学術顧問として大変お世話になった東洋大学のご協力によって一年以上かけて行われた作業が、いかに重要であったかは、大げさではなく歴史が証明してくれると思います。

このプロジェクトに関わって下さったすべての皆様に、あらためて父と共に深謝申し上げます。

◆ 監修者として



まずはこの「ドナルド・キーン蔵書整理・調査プロジェクト」作業が無事に終了し、6,425冊分の蔵書リストが完成したことに対して、関係者各位に心から感謝の意を捧げたいと思います。とくに、今回の共同事業の提案を東洋大学に示してくださり、作業場やPC環境を整え、最後までしっかりと支えてくださった北区地域振興部の方々には深く御礼申し上げます。そして、キーン先生の貴重な蔵書の調査整理作業を東洋大学の学生たちに委ねてくださったドナルド・キーン記念財団にも深く感謝いたします。また何より、作業に携わってくれた33名の学生たちの地道でたゆまぬ努力に最大限の敬意を表します。君たちの頑張りがなければ、このプロジェクトは成功しなかったのです。ありがとう。君たちは単にアルバイトとしてこの作業に応募したわけではなく、日本文学文化を広く世界に発信したドナルド・キーンという人物に興味を持ち、その人が残した書籍から何かを得ることができるのではないかと考えて関わってくれたわけです。君たちは、キーン先生の生涯の足跡を、蔵書を通じてたどったことになりましたが、何をそこから学んだでしょうか？

このプロジェクトには三つの意義があったと私は思っています。

まずは学官民連携による共同事業として今後の地域文化の発展にとって一つの実績となったことです。ドナルド・キーン先生が残された功績は北区と深く結びついた「文化」です。北区中央図書館「ドナルド・キーンコレクション」787冊の蔵書に、今回はその9倍を超えるデータが加わり、結びつきはより強固なものとなったと思います。

次には、この調査整理作業そのものが、貴重な「教育」であったということです。学生たちはキーン先生の蔵書の多種多様ぶりに目を見張りました。そしてその1冊1冊に細かな字で膨大な書き込みや傍線が残されていることに驚きました。さらには、献本された書籍に添えられた送り主からのメッセージからキーン先生との関係を想像しました。書籍の向こうにドナルド・キーンという人間の姿が見えていたはずでした。日本文学文化の深淵に達する愛着、生涯をかけた学問への真摯な姿勢、誰からも慕われた人柄を学生たちは学びました。そのことは、教室では学ぶことの出来ない稀有な教育成果であり、このプロジェクトを遂行したことの最大の意義であったと大学教員の一人としては思います。

三つめは、完成した蔵書リストが今後、キーン先生が遺された業績を学問的にもきちんと評価するうえでの「研究」の基盤となり得るということです。日本を心から愛したキーン先生にとって「日本人」「日本文化」とは何であったのか？我々はキーン先生の中に何を見ようとしたのか？多文化共生社会の実現を目指す未来の日本人が学ばねばならないことが、そこにはあるのではないのでしょうか。

ドナルド・キーン蔵書整理・調査プロジェクトの成果は、これがゴールではなく、地域、教育、研究にむけた新たなスタートであると私は信じています。

東洋大学文学部 石田仁志



ドナルド・キーン氏蔵書整理 主要蔵書紹介

今回の蔵書整理では単に書誌リストを作成するだけではなく、北区中央図書館のコレクションに倣い、書籍への書き込みや傍線、署名、挟み込みの状況も1ページごとに丹念に調査した。多くの書籍にキーン氏の書き込みがあり、氏が日本文学文化を勤勉に、丹念に読まれていたことを学生たちは肌で感じ取っていた。そのことは彼らに学問をする姿勢を無言のうちに教えてくれていたと思う。また、蔵書の中には、キーン氏の交友関係の広さ、深さ、氏の趣味や興味関心の幅の広さをうかがわせるものも多数あり、そこからは「人間」ドナルド・キーンの姿そのものが浮かび上がってくる気がする。

ここには調査した6,425冊の中から、ドナルド・キーン氏の素顔の一端をうかがい知ることの出来る蔵書数点を紹介する。なお、選別は監修者である私の独断による。書名の前の()内は蔵書の整理番号である。(石田仁志)

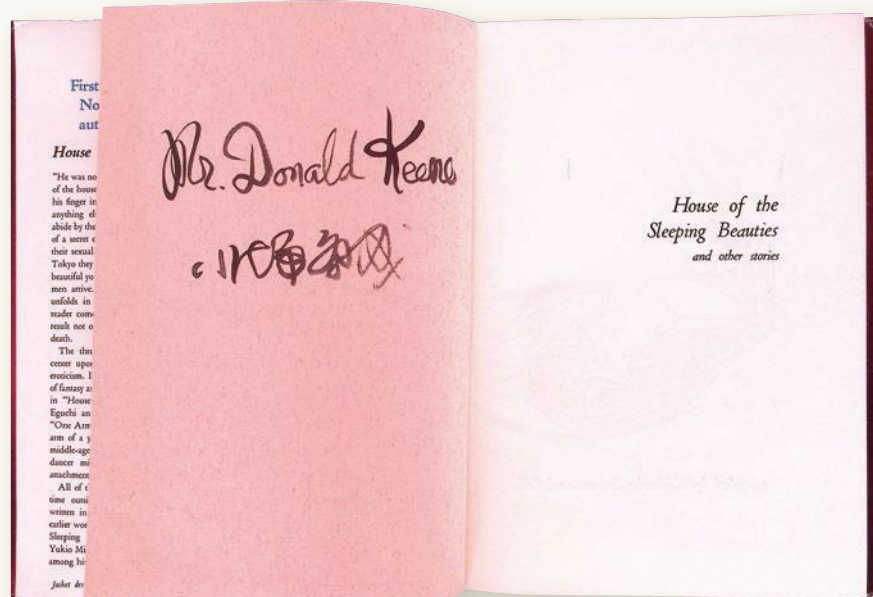
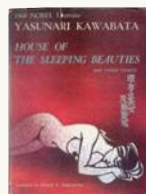


(0080)

House of the sleeping beauties, and other stories

Yasunari Kawabata (川端康成) 著
Edward G. Seidensticker
(エドワード・サイデンステッカー) 訳
Kodansha International (Tokyo) / 1969年

扉には川端康成自筆の献本署名がある。前年の1968年に川端はノーベル文学賞を受賞しており、本書はその受賞記念刊行本。「眠れる美女」「片腕」「禽獣」が収録されている。

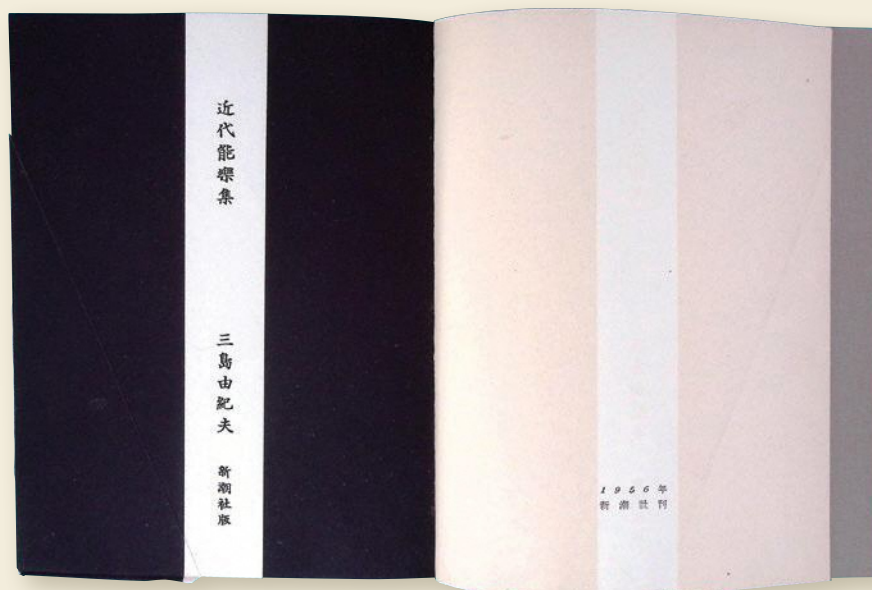


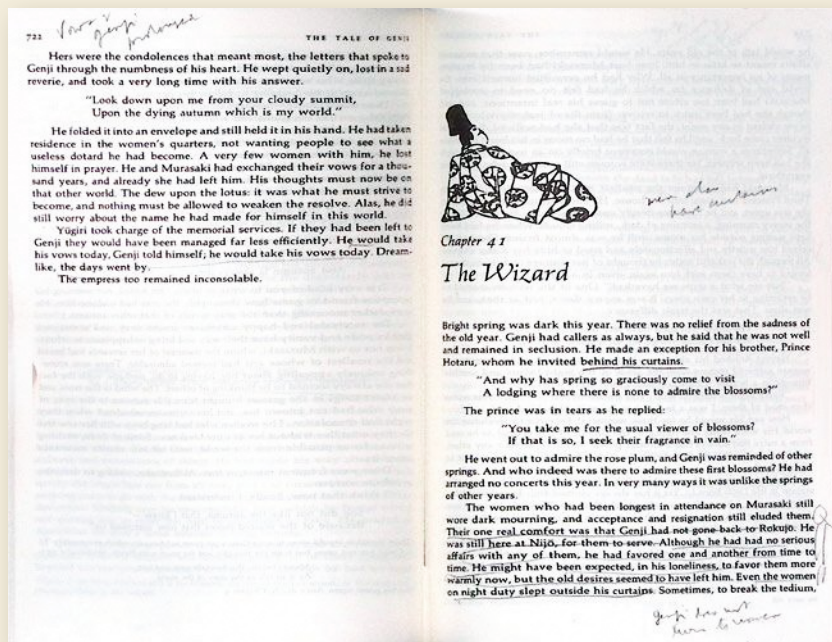
(5027)

近代能楽集 (函入)

三島由紀夫
新潮社 (東京) / 1956年4月

三島由紀夫からの自筆の献辞署名が扉に書かれており、「昭和31年6月2日御帰朝の日」とある。また、箱の中には、1957年4月12日に中央公論社ビルでのキーン訳「HANJO」(班女)の能上演案内も挟み込まれている。これはキーン氏が三島の『近代能楽集』を英訳したものの初演か。





(0501・0502)

The Tale of Genji Vol.1,2

Edward G. Seidensticker
(エドワード・サイデンステッカー) 訳
Charles E. Tuttle Company (東京)
1979年／第3刷

キーン氏が最初に読んだ『源氏物語』はアーサー・ウェーリ訳であったことは有名だが、このサイデンステッカー訳も全編にわたっておびただしい傍線や書き込みがあり、最後まで丁寧に読みなおしていることがうかがえる。本書は1976年 Knopf 社版の再版本。

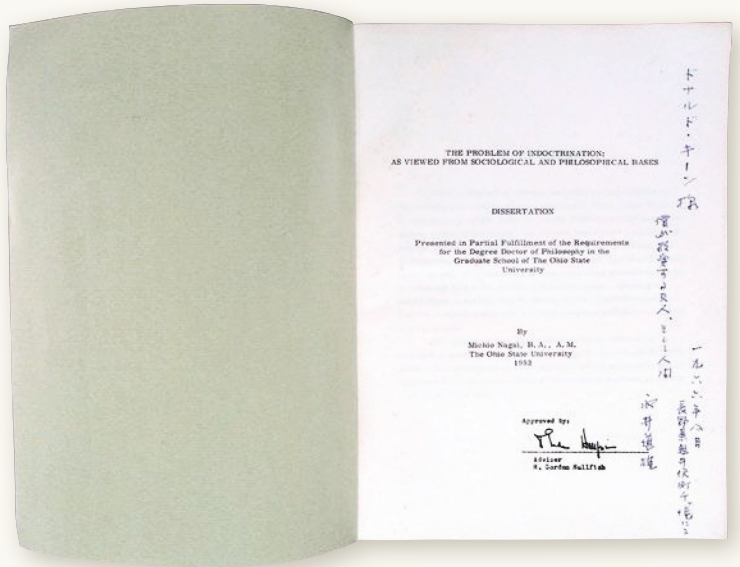
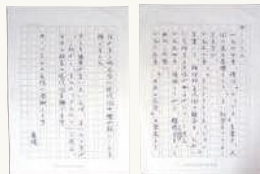


(5649)

The Problem of Indoctrination As Viewed from Sociological and Philosophical Bases

Michio Nagai (永井道雄)
Ohio State University (US) / 1952年

永井道雄氏はキーン氏の終生の友人。教育社会学者として京都大学助教授、東京工業大学教授を経て1972年に文部大臣に就任。本書は1952年にオハイオ州立大学大学院に提出した博士論文。署名の日付は1966年8月。キーン氏に宛てた手紙も挟み込まれており、キーン氏が「僕が敬愛する人、そして人間」と讃えている。

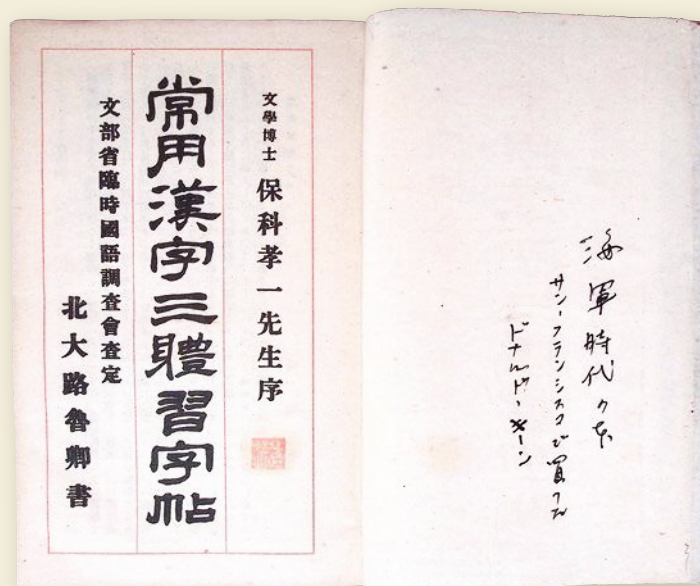


(1723)

常用漢字三体練習

北大路魯山人編 著
荻原星文館 (東京) / 1940年 / 5版 (初版1930年)

文部省が査定した制限漢字を基にした習字帖で、1924年に発行されたものの再版。扉に「海軍時代の本 サンフランシスコで買った」と日本語で書き込みがある。戦時中に日本兵の遺品の日記を読む際に手書きのくずし字を判読するために用いたものだろうか。キーンの海軍在籍は1942～45年。書き込みは後年のものと思われる。

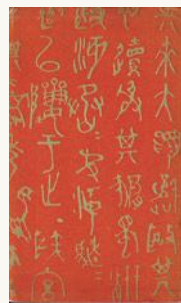


(3635)

漱石全集 第8巻
それから

岩波書店(東京)
1956年

全編にわたって傍線や書き込みが多数あり、丁寧に読み込んでいることがうかがわれる。

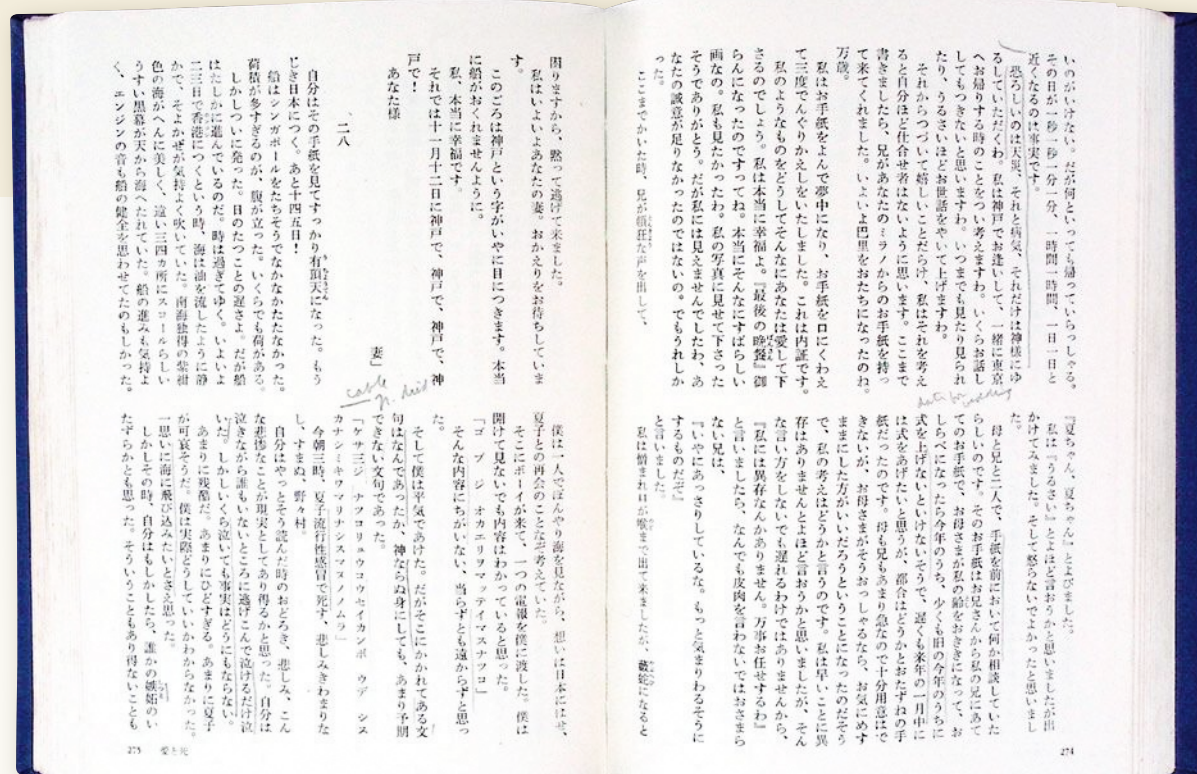
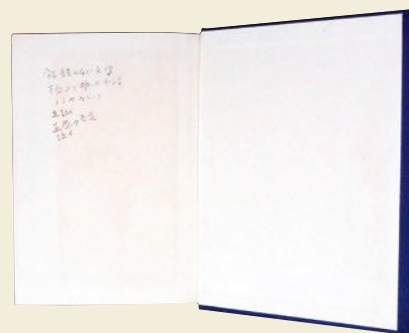


(5125)

日本の文学 20
武者小路実篤

中央公論(東京)
1973年

本書は1964~67年に刊行されたアンソロジーの普及版(アイボリーボックス版)。編者は谷崎潤一郎、川端康成、伊藤整、高見順、大岡昇平、三島由紀夫、ドナルド・キーン。「お目出たき人」「愛と死」の2篇に書き込みが集中している。扉には「余韻のない文学 極めて非日本的 うらやましい 立派直感の否定 泣く」と書き込まれており、キーン氏がどのように実篤の小説を受け取ったのかを考えさせる。





(西ヶ原枕元10)

双蝶々曲輪日記

竹田出雲、三好松洛、並木千柳
寛延2年(1749)／出版元不明

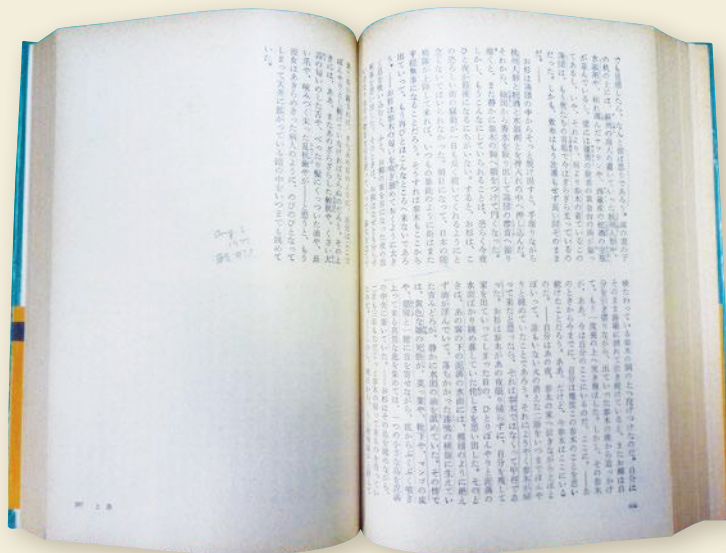
これは和紙の和綴じ本で、浄瑠璃(義太夫)の丸本。亡くなるときまで枕元に置いていた本のうちの一冊。能や歌舞伎、謡曲が大好きであったキーン氏らしい遺品の一つと言える。

(4640)

日本の文学 37 横光利一

中央公論(東京)
1973年

本書も5125のアイボリーバックス版の一つ。「上海」に書き込みが集中している。一部分、英訳をしている書き込みがある。「上海」の最後のところに「Aug 6 1977 軽井沢」と書き込みあり。コロンビア大学での講義の資料か？

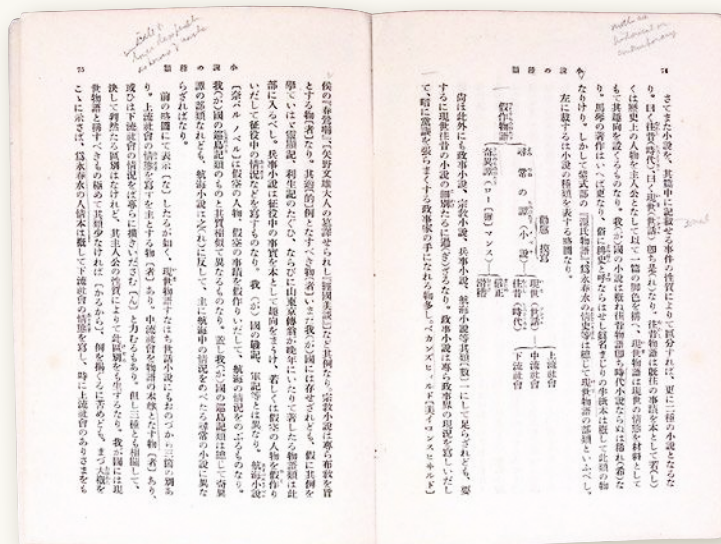


(3630)

小説神髓

坪内逍遙 著 [岩波文庫]
岩波書店(東京)／1966年

全編にわたって細かな書き込みが多数あり、最後まで丁寧に読んでいることがわかる。



蔵書リスト(和文)(一部抜粋)

通し番号	書名1-1	著者名1-1	出版者	出版年月日	刷年月日	その他
5027	近代能楽集	三島由紀夫 / 著	新潮社	1956/4/30		出版案内
5028	井原西鶴	角田柳作 / 著	民友社	1897/5/24		
5029	Emperor of Japan	Donald Keen/by	Columbia University Press	2002//		
5030	The people and culture of Japan	Donald Keene, Shiba Ryotaro/ by	Japan Publishing Industry Foundation for Culture	2016/3/27		
5031	Edo Japan encounters the world	Donald Keene, Shiba Ryotaro/ by	Japan Publishing Industry Foundation for Culture	2018/3/27		
5032	日本人の西洋発見	ドナルド・キーン / 著	中央公論社	1968/12/20	1992/8/15	
5033	日本文学史	ドナルド・キーン / 著	中央公論新社	2012/9/25		スリップ / 出版案内
5034	百代の過客	ドナルド・キーン / 著	講談社	2012/4/10	2016/2/15	付箋多数 / しおり (2枚) / スリップ
5035	The narrow road to Oku	Matsuo Bashō/by	Kodansha USA	2017//		
5036	マロニエの花が言った	清岡卓行 / 著	新潮社	1998/8/30		
5037	朝鮮史家の記せる豊太閤朝鮮役	青柳綱太郎 / 著	京城新聞社	1928/3/19		シール「文紀堂書店」(裏見返し)
5038	日本文学全史	本間久雄 / 著	東京堂	1935/7/29	1938/2/1	月報2
5039	日本文学全史	本間久雄 / 著	東京堂	1937/10/28		
5040	明治文学序説	藤村作 / 著	山海堂出版部	1932/10/23	1933/9/8	付箋 (表見返し)
5041	中世的世界の形成	石母田正 / 著	伊藤書店	1946/6/10	1950/2/20	スタンプ「札幌南高校図書館廃棄本」(表遊び紙, 本扉から1p), 「判読不明」(小口) / 破損した背表紙 (裏見返し)
5042	日本思想史の諸問題	田村圓澄 / 著	永田文昌堂	1948/7/25		スタンプ「信乗」, シール「大書堂」(裏遊び紙)
5043	修訂人物論叢	辻善之助 / 著	雄山閣	1947/12/20	1948/11/30	古書店の値札 (表見返し)
5044	講座日本風俗史	雄山閣 / 編	雄山閣出版	1959/4/15		値札シール
5045	伊藤整全集	伊藤整 / 著	新潮社	1972/12/15		付録4
5046	戦国の犯科帳	井上和夫 / 著	人物往来社	1964/5/30		出版案内
5047	毛利元就	三坂圭治 / 著	人物往来社	1966/6/5		出版案内
5048	一向一揆	笠原一男 / 著	至文堂	1966/1/10		スリップ
5049	豊太閤の私的生活	渡辺世祐 / 著	創元社	1939/8/5	1941/9/15	出版者ハガキ / 書込「¥450」(裏遊び紙)
5050	倭寇記	竹越與三郎 / 著	白揚社	1938/4/20		
5051	南方外交史話	中田千畝 / 著	日本国際協会	1942/6/6		
5052	豊臣家の人々	司馬遼太郎 / 著	中央公論社	1967/12/5	1971/7/13	
5053	大日本戦史	高柳光寿 / 編	三教書院	1938/2/25		書込「1200」(裏遊び紙)
5054	中国史料集	米原正義 / 校注	人物往来社	1966/9/15		書込「1000」(裏遊び紙)
5055	日本の歴史	竹内理三 / 編	中央公論社	1967/6/15		付録2
5056	日本の歴史	杉山博 / 著	中央公論社	1965/12/15	1966/7/15	付録11
5057	日本の歴史	林屋辰三郎 / 著	中央公論社	1966/1/14	1966/6/4	付録12/ スリップ
5058	ロシアの美的世界	木村浩 / 著	新潮社	1977/11/15		出版案内 / しおり
5059	シュルレアリスムと性	グザヴィエル・ゴージェ / 著	朝日出版社	1974/4/25		出版者ハガキ
5060	日本の海賊	長沼賢海 / 著	至文堂	1955/8/25	1964/3/25	
5061	ルーマニアの民話	直野敦 / 訳編	恒文社	1978/4/30	1978/11/30	出版案内
5062	何のための教育か	永井道雄 / 著	東洋経済新報社	1971/8/10		しおり / スリップ
5063	寂光	西崎照明 / 著	成田山学園	1981/10/8		
5064	本の百年史	瀬沼茂樹 / 著	出版ニュース社	1965/9/25		
5065	江戸城総攻	国立劇場調査養成部 芸能調査室 / 編	国立劇場調査養成部 芸能調査室	1973/11/1		
5066	釈迦の予言	菊村紀彦 / 著	雄山閣出版	1974/11/20		
5067	怪談の世界	山田野理夫 / 著	時事通信社	1978/7/20		
5068	Gを彼方に	横手行雄 / 著	民生館	1982/6/27		
5069	明治の演劇	岡本綺堂 / 著	大東出版社	1942/3/20	1942/7/10	書込「230」(裏遊び紙)
5070	歌舞伎の座標	河竹登志夫 / 著	毎日新聞社	1977/1/20		
5071	南北米能楽紀行	渡辺三郎 / 著	渡雲会	1981/9/28		
5072	若き鴉外の悩み	河村敬吉 / 著	現代社	1957/6/20		
5073	宝生流のはなし	わんや編集部 / 著	わんや書店	1960/1/20	1962/4/20	
5074	凍死と風	山際文雄 / 著	東文堂	1971/10/10		

蔵書リスト(洋文)(一部抜粋)

通し番号	書名1-1	著者名1-1	出版者	出版年月日	刷年月日	その他
2548	An Introduction to the study of Chinese painting	Arthur Waley/by	Grove Press	1923//		
2549	The Analects of Confucius	Arthur Waley/tr	GEORGE ALLEN & UNWIN LTD	1938//		書込「判読不明」(表見返し)
	The book of songs	Arthur Waley/by	Houghton Mifflin	1937//		
2551	The temple and other poems	Arthur Waley/tr.	George Allen &Unwin	1923//		
2552	The book of songs	Arthur Waley/by	Houghton Mifflin	1937//		
2553	Botteghe Oscure	Marguerite Caetani/ed.	Arnoldo Mondadori	1951//		
2554	More translations from the Chinese	Arthur Waley/by	Alfred A. Knopf	1919/11/	1937/7/	カバー破損部分(表見返し)
2555	A hundred and seventy chinese poems	Arthur Waley/by	Constable	1918//		書込「3/6」(表見返し)
2556	Chinese poems	Arthur Waley/by	George Allen and Unwin	1946//	1948//	書込「go」(裏見返し)
2557	The pillow-book of Sei Shōnagon	Arthur Waley/tr.	Houghton Mifflin	1929//		
2558	The British Library Journal	Mirjam Foot/ed.	The British Library	1983//		
2559	Japanese Poetry the 'UTA'	Arthur Waley/by	Lund Humphries	1946//		
2560	The Journal of the Rutgers University Libraries	Pamela Spence Richards/ed.	Rutgers University Library	1986/6/		
2561	The poetry and career of Li Po	Arthur Waley/by	George Allen and Unwin Ltd	1950//		
2562	The nine songs	Arthur Waley/by	George Allen &Unwin	1955//		
2563	The life and times of Po Chū-i	Arthur Waley/by	Macmillan	1949//		
2564	Ballads and stories from Tun-huang	Arthur Waley/by	Macmillan	1960//		元元書庫 NY
2565	The Thunder and the Freshness	Beryl de Zoete/by	Neville Spearman	1963//		
2566	Yuan Mei	Arthur Waley/by	George Allen &Unwin	1956//		
2567	Three ways of thought in ancient China	Arthur Waley/by	George Allen &Unwin	1939//	1946//	
2568	The lady who loved insects	Arthur Waley/tr.	The Blackamore Press	1929//		
2569	The secret history of the Mongols	Arthur Waley/by	George Allen &Unwin	1963//		製本ミス(p127)
2570	The real Tripitaka	Arthur Waley/by	Allen and Unwin	1952//		
2571	Monkey	Wu Ch'êng-ên/by	The John Day	1943//		
2572	The Opium War through Chinese eyes	Arthur Waley/by	George Allen and Unwin	1958//		
2573	The nô plays of Japan	Arthur Waley/by	Alfred A. Knopf	1922//		
2574	THE TRAVELS OF AN ALCHEMIST	Li Chih~Ch'ang/by	GEORGE ROUTLEDGE & SONS	1931//		
2575	THE WAY AND ITS POWER	Arthur Waley/by	GEORGE ALLEN & UNWIN	1934//	1949//	
2576	The tale of Genji	Lady Murasaki/by	Houghton Mifflin	1926//		書込「3.50 I 31261」(裏見返し)
2577	The sacred tree	Lady Murasaki/by	Houghton Mifflin	1926//		
2578	A Wreath of cloud	Lady Murasaki/by	Houghton Mifflin	1927//		紙「③ 1927」(表見返し)
2579	Blue trousers	Lady Murasaki/by	Houghton Mifflin	1928//		
2580	The lady of the boat	Lady Murasaki/by	Houghton Mifflin	1932//		
2581	The bridge of dreams	Lady Murasaki/by	Houghton Mifflin	1933//		
2582	The Bridge of Dreams	Haruo Shirane/by	Stanford University-Press	1987//		
2583	LA DIVINA COMMEDIA	Dante Alighieri/by	J.M.Dent & Sons	1933//		
2584	The operas of Verdi	Julian Budden/by	Oxford University Press	1978//	1980//	
2585	The operas of Verdi		CASELL	1978//	1983//	索引の Lo.bardi の箇所の真下に付箋(p527)
2586	The Verdi companion	William Weaver;Martin Chusid/ed	W・W Norton & Company	1979//		値札シール
2587	Madly singing in the mountains	Arthur Waley/by	Allen & Unwin	1970//		付箋(p52)
2588	Taken Captive	Ōoka Shōhei/by	John Wiley & Sons, Inc,	1996//		
2589	Between You & Me	Mary Norris/by	W・W Norton & Company	2015//		
2590	Contemporary Japanese Literature	Howard Hibbett/ed	Alfred A. Knopf	1977//		
2591	The Pilot House	David Rigsbee/by	Black Lawrence Press	2011//		
2592	The Daughters Suite	William I. Elliott/Poems	SandStar Publications	2003//		
2593	Living Carelessly in Tokyo and Elsewhere	John Nathan/by	Free Press	2008//		
2594	Yesterday, or Long Ago : Poems	Wiley Clements/by	Clock & Rose Press	2004//		



作業風景

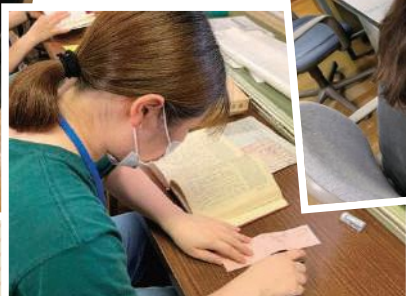
Work Scene

ドナルド・キーン蔵書整理・調査の作業風景をご紹介します。作業場所は北区の公共施設の一部スペースを利用しました。そちらに、キーン氏のご自宅の西ヶ原の書斎、軽井沢の別荘、新潟にあった書庫から残された書籍を順次運び込んで、設置した書架に配架しました。この時、西ヶ原の書斎に置かれていた本の配置を崩さないように並べ、将来、書斎を再現する必要が生じた場合でも本の並びを再現できるようにしました。

調査整理作業のためのスペースは、写真のように机を並べて確保しました。決して広いという場所ではありませんので、一度に作業できる人数は最大でも10人程度です。このプロジェクトが始まった2022年7月は新型コロナウイルスの第7波が襲ってきた時で新規感染者数が発生以来、最大となった時でした。その様な状況下でしたので、密になりすぎず、感染防止に気を配りながらの作業でした。

作業は、1冊ごとに書誌情報を調べ、1ページずつ傍線や書き込み、挟み込みの確認としていきます。丁寧さと根気が求められる作業だと思います。そして、確認できた情報を記録紙に書き込み、さらには北区が提供したPCに入力していきます。入力項目は最大で1冊につき72項目にわたります。

学生たちは授業の前後や授業のない日に作業場まで通って作業をしていましたので、1日で処理できる冊数というのはそう多くはありません。まして、彼ら全員が図書館司書のような知識を持ち合わせているわけではありませんので(司書資格を取得する授業の履修者もいましたが)、分からないことはスタッフ職員に聞いたり、皆で相談したりしながら進めていくしかありません。まるで、学園祭の準備をしているサークルの合宿所のような感じだったかもしれません。





作業に参加した学生は総勢33名で、東洋大学エクステンション課の方でシフト管理をしながら作業をしてもらいました。作業期間は約13ヶ月で、トータルで100日以上も作業に加わってくれた学生も多くいました。

作業場はドナルド・キーン氏の蔵書の保管場所ともなっていたために、生誕100年を記念して日本各地で開かれていた展覧会に、ここから何冊もの書籍が展示品として持ち出されていきました。その選定作業のために、ご子息のキーン誠己さんもたびたび作業場に足を運ばれ、学生たちの作業を見守ってくださり、時にはアドバイスをくださったりしていました。

このプロジェクトは参加した学生たちにとって、生涯において得難い経験になったことは間違いありません。それは単に蔵書整理作業をしたということにとどまらず、ドナルド・キーン氏という広大な知の世界に触れた経験であり、また多くの人と協働して一つの仕事を完成させた達成感ではなかったかと思います。

今回の蔵書整理プロジェクトの仕事は下調べや目録作りなど地道で細かいものが多く、大変な部分もありました。しかしそれだけではなく、司書課程で学んだ知識を実際に生かすことができたり、様々な人と出会うことができたりと貴重な経験をすることができました。そしてキーン氏の蔵書に実際に触れたことで、日本文学の研究者であったキーン氏が文学以外にも多くの関心があったことを知ることができ、多くのことに興味を持つということの重要性を感じることができました。

●文学部史学科2年 鈴木綾乃

プロジェクトを通して、とても貴重な体験をさせていただきました。時折、蔵書に挟まれた贈呈者からの手紙などに触れると、キーン先生が、非常に多くの人に慕われていたことが伝わって来て、改めて先生の影響力を目の当たりにしているように感じました。これほど偉大な方が遺した蔵書を整理することというのは大きな意義を持つと同時に、完成した資料がまた何らかの形で役立てられることで、キーン先生も喜ばれるのではないかと思います。

●文学部日本文学文化学科4年 木村元昭

参加学生の感想

(注) 所属学部学科・学年は2023年度現在。写真に写っている学生とは限りません。

著名な研究者の蔵書を知りたいという想いでプロジェクトに参加しました。膨大な蔵書にあたりキーン先生の幅広い交友関係を示す資料や自身の思考、感情を記した書込を拝見することができました。サインや手紙に記載された名前、話題をきっかけに、多くの文化芸術分野にも興味が湧きました。また、軽井沢で開かれた先生の展示会に行った際、多くの方々が観覧されているのを目にして、この活動の意義を改めて感じました。キーン先生の生涯に触れ、先生が大切にしていたモノ、伝えたかったコトに思いを致し、多くの学びを得ることができました。

●法学部法律学科3年 河村寛

日本文化についての著書、手紙やハガキが挟み込まれた寄贈本、その他膨大な数の蔵書に触れる中で、キーン氏がいかに深く日本文化を愛されていたのか、数多くの研究者や作家の方々に慕われていたのかをひしひしと感じました。地道な作業の連続でしたが、ページを一枚一枚めくって確かめる毎に、キーン氏もいつか同じように読んでいたのだと不思議であり感慨深い気持ちになったことを覚えています。今回プロジェクトの一端に携われたことは、私自身にとって大きな経験となりました。

●文学部日本文学文化学科4年 舘川愛



ドナルド・キーン氏 蔵書整理・調査プロジェクト 作業日程

このプロジェクトは、2022年6月に東洋大学学内で参加学生募集を行い、106名の応募者の中から書類選考及び面接を経て、学生スタッフ29名が選ばれた。そして、7月14日に東洋大学、北区、キーン記念財団の3者の共同事業協定に調印がなされ、19・21日の2日間、学生たちに対する事前研修が北区中央図書館において実施された。

そして、2022年8月1日(月)より、スタッフ29名(学生)・監督者2名(職員)・監修者1名(教員)のプロジェクトメンバーのもと、蔵書整理・調査が正式に開始された。また、2023年度には4月に3名、5月に1名、合計4名の新規学生スタッフが加わり、作業を行った。

次に、プロジェクト開始から終了までの作業日程について記載する。なお、この日程表は東洋大学社会貢献センターが作成し、東洋大学『2022～2023年度「ドナルド・キーン氏蔵書整理・調査プロジェクト」活動報告』に掲載されたものである。

年	月	日	西ヶ原本 (5,036冊 (啄木本55冊・根岸本34冊・その他55冊を含む))	新潟本 (1,177冊)	軽井沢本 (212冊)
2022	8	1～2	学生スタッフによる蔵書の開棚、書棚への配置、並び替え。		
		2	蔵書下調べ方法の説明を受け、棚ごとに学生の担当を決め、下調べ作業(データ項目 No.63～72)に入力する情報の調査とその情報を蔵書に挟まれている付番カード(※1)へ転記開始。		
		22	データ入力方法の説明を受けて、下調べ作業と並行して72項目あるエクセルフォームへ書誌及び下調べで調査した情報の入力開始。		
	10	27	入力終了したデータを出力し、一巡目チェック(データをA3プリンタ用紙に出力し、入力者以外の学生が現物と突合せチェック)作業開始。チェックが終わった出力データを入力者に戻しデータ修正。		
		上旬	西ヶ原分蔵書の下調べ作業終了。		
		22	一巡目データ修正が終了したものを再度出力し、同様の方法で二巡目チェック作業開始。		
	12	26	西ヶ原分蔵書の書誌、下調べデータの入力終了。		
		3	二巡目チェックが終了したのから、更にデータ修正(入力担当者以外でもデータ修正可)開始。		
		16～24		付番カード(※1)蔵書への挟み入れ作業。	
	2	17			付番カード(※1)挟み入れ作業。
		21			蔵書の下調べ作業(西ヶ原と同様)開始。
		22	二巡目チェック作業終了。		
2023	2	24		蔵書の下調べ作業(西ヶ原と同様)開始。	
		7			下調べ作業終了。
		10			下調べ後、データ入力作業(西ヶ原と同様)開始。
	3	15		下調べ後、データ入力作業(西ヶ原と同様)開始。	
		22			下調べデータ入力作業終了。
		24			入力したデータの一巡目チェック作業(西ヶ原と同様)開始。
	3	30	二巡目チェックにより修正したデータを整理番号(※2)順にし、整理番号台帳を作成。整理番号台帳をチェックしながら蔵書を整理番号順に並び替える作業を開始。		
		31	二巡目チェックのデータ修正作業終了。		データチェック作業終了。チェック済入力データの修正作業(西ヶ原と同様)開始。
	4	3			チェック済入力データの修正作業終了。
		21		入力したデータの一巡目チェック作業(西ヶ原と同様)開始。	
	5	10		下調べデータ入力作業終了。チェック済入力データの修正作業(西ヶ原と同様)開始。	
		11	蔵書を整理番号順に並び替える作業終了。チェックにより修正したデータで整理番号台帳(データ項目 No.1～9)を再作成し、蔵書との第1回目突合せ作業開始。		
		16	入力したデータの三巡目チェック(最終見直し)、修正作業開始。		
	5	17		付番カード(※1)チェック項目の確認作業開始。	
		18		データ一巡目チェック作業終了。	
		19	蔵書の付番カード(※1)に赤丸シールを貼付するためのデータチェック及び台帳(データ項目 No.1～9・63～72)(※3)作成開始。		
	6	24		チェック済入力データの修正作業終了。	付番カード(※1)チェック項目の確認作業開始。
		25	ドナルド・キーン記念財団(北区中央図書館作業補助)による整理番号確定作業開始。		
		26	再作成した整理番号台帳(データ項目 No.1～9)による蔵書との第1回目突合せ作業終了。		付番カード(※1)チェック項目の確認作業終了。
	6	31		入力したデータの最終見直し(三巡目チェック)、修正作業開始。	
		5		付番カード(※1)チェック項目の確認作業終了。	
		16～28	台帳(※3)にもとづき、付番カード(※1)に赤丸シール貼付及び貼付チェック作業。		
	7	21	蔵書の付番カード(※1)に赤丸シールを貼付するためのデータチェック及び台帳(データ項目 No.1～9・63～72)(※3)作成終了。		
		23	蔵書への整理番号(※2)転記作業開始(西ヶ原はデータ項目 No.3～7の情報)。		入力したデータの最終見直し(三巡目チェック)、修正作業開始。
		11	蔵書への整理番号(※2)転記及び転記チェック作業終了。		
	7	12～14		新潟本は「新」、軽井沢本は「軽」のみをそれぞれ転記及び転記チェック作業。	
		20	ドナルド・キーン記念財団(北区中央図書館作業補助)による整理番号確定作業終了。		
		21～26	蔵書と整理番号台帳(データ No.1～9)との第2回目突合せ作業を実施し冊数確定。		
	7	26	入力したデータの三巡目チェック(最終見直し)、修正作業終了。		
		27	ドナルド・キーン氏 蔵書整理・調査について北区・吉村氏が実査を実施。		

- ※1 ※2の情報が記載されているカード。このカードが蔵書に挟み込まれている。この付番カードに調査後、キーン氏や贈呈者等が残した、扶込・書込・署名等の情報(データ No.63～72)を転記する。
※2 各資料に付与した番号。西ヶ原本は書庫に配架されていた状態を再現できるよう付番(データ項目 No.3～7)、新潟本と軽井沢本は通し番号を付番。
※3 整理番号順にプリントした整理番号台帳を作成し、旧蔵者(キーン氏)の書き込みや挟み込み、贈呈者の署名や書き込みがある等の条件を満たしている本をチェックする。

東洋大学社会貢献センター作成



6425冊

(ドナルド・キーン氏蔵書整理・調査プロジェクト)

編集 東京都北区地域振興部文化施策担当課
東京都北区王子1-11-1 北とぴあ10階
発行 東京都北区
東京都北区王子本町1-15-22
印刷 川口印刷工業株式会社 東京支店
東京都荒川区西尾久7-58-2
東京都北区昭和町3-8-2